

平成27年7月（第9回）教育委員会議事録

1. 開催の日時及び場所

平成27年7月29日（水）16：30～19：45

宇部市港町庁舎 3階会議室

2. 出席委員の氏名

水田 和江 委員長

赤川 宏 委員

田村賢二郎 委員

白石 千代 教育長

3. その他議場に出席した者

松田教育次長、金重総務課長、石田学校教育課長同格、小林総務係長

4. 傍聴者 なし

5. 趣 旨

委員長： ただいまから、平成27年7月29日の第9回教育委員会会議を開催いたします。

本日は、三原委員が欠席ですが、委員数が過半数となっていますので、会議として成立していることを最初に報告します。

また、本日の傍聴の申し出はございませんでした。

委員長： 次に、本日の会議録署名委員の指名についてですが、本日の会議録署名人は田村委員にお願いします。

委員長： 本日の議題は、「議案第30号 宇部市立中学校教科書採択について」の一件となっていますので、事務局からお願いします。

事務局： 今日の会議の進め方について御説明いたします。

各種目ごとの教科書について、第2回教科書選定委員会における報告や協議を踏まえ、この場における十分な審議を通して採択する教科書を決定していただくことになります。御審議いただく種目の順序としては、要項に示しておりますが、第2回教科書選定委員会における報告と順序が変わっておりますので御注意願います。

それでは、委員長に進行をお願いいたします。

委員長： 只今、本日の審議について、事務局から説明がありましたが、何か御質問はありますか。

それでは、調査員からの報告を参考にしながら、各種目について採択していきたいと思います。

まず国語について、ご意見等ありますか。

委員長： 現行で使っているのは光村図書出版ですね。

委員： 自分が分かりやすいと思ったのは、三省堂です。図示してあるところや相関図などがしっかりしていて、国語が苦手な生徒にも教えやすいのではないかと感じました。その他には、東京書籍や光村図書出版もよくまとまっていると思

います

教 育 長： 調査員の中にも、三省堂は賛否両論あったかと思います。

委 員： 私は、三省堂を見まして、子どもの興味を引くと思いましたが、東京書籍が教材に向いていると思いました。光村図書出版は非常に使いやすいという感じを受けています。どれを選ぶかということになると、現行の光村図書出版を変えてまでという必要は感じていません。

教 育 長： 欠席された委員が提出された意見書では、書く力という点から、東京書籍か光村図書出版ということで検討されています。光村図書出版と東京書籍を比べた場合、書くことの割合で1年生は光村図書出版が多いのですが、2,3年生では東京書籍の方が書かせるという作業が多いので、書く力をつけさせるためには、東京書籍の方が良いということになっています。

教 育 長： 光村図書出版は教員が使い慣れているということがありますが、使い慣れるということは、教材研究がおろそかになりがちな面があると思います。変更があると、新たに教材研究に取り組むという良さがあります。東京書籍と光村図書出版で、甲乙はないと思いますが、東京書籍の方が、書くことの例示が多いということと、文法のまとめが良いと思います。本の紹介についても、文章が抜き出してあって、生徒の興味を引きやすい構成になっていると思います。手紙の書き方についても手書きで表示してあり、柔らかい感じがします。

委 員 長： 三省堂も良いところがあると思いましたが、文字が少し小さく感じました。東京書籍の折込のところは、よくまとまっているのですが、生徒が見なかったり、破損しそうだと感じました。

教 育 長： 学力テストでの宇部市の生徒の課題は、書く力が弱いところですので、書く力をつけるという点において、東京書籍の方が充実していると思います。

現在の光村図書出版から東京書籍で変わること、教材の比較研究が充実できると思います。研究会の発表者は、あまり甲乙をつけていないように思われました。

委 員 長： 光村図書出版か東京書籍かというところだと思いますが、いかがでしょうか。

教 育 長： 東京書籍は、書く力という視点があるのが良いと思います。

委 員 長： それは、大事なところだと思います。

教 育 長： 書く所について、東京書籍が105箇所、光村図書出版で72箇所あります。それと、読解を助けるための写真や図が、東京書籍の方が多いと思います。

委 員： 教科書が変わった場合に、副教材なども変更されるのですか。

教 育 長： 国語便覧などがありますが、教科書が変更されても影響はないと思います。

委 員： 教育委員会として、書く力に重点を置くというスタンスを示す意味で、東京書籍のほうが良いと思います。

委 員 長： それでは、国語については、書く力についての教材が充実している東京書籍採用することによってよろしいでしょうか。

(全委員異議なし)

委 員 長： 次に書写について、ご意見等お願いします。

- 委員 長： 東京書籍は原寸大になっているところが多いと思います。
- 委員： 原寸に近い方が、参考にしやすいと思います。
- 教育 長： 調査員は、光村図書出版がなぞり書きが多いと言われていました。
- 委員： 手紙の書き方等は、東京書籍と光村図書出版ともによく紹介してあり、特に差はないと思います。
- 委員： 書写は、毛筆が主であって欲しいと思います。
- 教育 長： 全体として、硬筆が増えてきているようです。
- 委員 長： 光村図書出版は、書き方のところで2色表示がしてあり、場合によっては、わかりにくいと感じる生徒がいるのではないのでしょうか。東京書籍では、四角の空間の中に、偏と旁をどうやって収めるのかが分かりやすいと思います。
- 教育 長： 光村図書出版は、生活に役立つ情報が多いと思いますが、書写は国語とあわせた方が良くないかと思います。
- 委員 長： 書写については、東京書籍を採用するということによろしいですか。
(全委員異議なし)
- 委員 長： 次に、地理について、ご意見をお願いします。
- 教育 長： 地理と地図は、会社が違くと用語が違う場合があるので、合わせてきた経緯があります。
- 委員： 地図は、帝国書院が良いと思います。
- 委員： 私も地図で言えば帝国書院だろうと思います。
- 教育 長： 東京書籍の地図は、資料集的になっていると感じました。
- 委員 長： 東京書籍では、中国地方のことがよく書き込まれていたもので、そこは良かったと思います。
- 教育 長： 帝国書院は、授業の振り返りのコーナーが充実しています。
資料から読み取って書かせるところが授業で使いやすいと思います。
- 委員 長： 課題が深められると思います。
- 委員 長： 地理について、帝国書院を採用するということによろしいですか。
(全委員異議なし)
- 委員 長： 次に、歴史について御意見をお願いします。
- 委員 長： 調査員からは、日本文教出版は基礎知識が押さえられている、教育出版は、ステップアップしやすい、小学校とのつながりの中で、東京書籍の年表がわかりやすいなどの意見がありました。
- 教育 長： 東京書籍は、資料が大変多く、帝国書院が2番目に多いと思います。本市の生徒の課題として、それだけの資料、情報を読み取る力があるか疑問に思うところがあります。これまで情報が多いことを良しとしてきましたが、生徒が自宅学習するときに、情報が多すぎて消化できないのではないのでしょうか。東京書籍を選択するのであれば資料集は不要であると思います。
- 東京書籍は、人権に対する配慮が素晴らしく、少数民族について、丁寧に記載してあります。帝国書院は、大きな単元に入るときに、視覚に訴えるものがあります。人権に配慮したコラムも多くあります。清水書院は平易に書いてあ

るので、学力が低い生徒にも使いやすいと思います。

委員長： 生徒たち自身で学習するのであれば、帝国書院のほうが使いやすい印象を受けました。あと年表が、世界史の中で比較してあるので把握しやすいと思います。東京書籍では、人権配慮のバランスが取れていると感じました。清水書院は、グループ討議がしやすいということと、戦時中、戦後の資料が揃っているので、学習の仕方に利点があると思います。

教育長： 調査員は、情報が多いということで、東京書籍を推していたように思います。自由社は歴史資料が少なく、思考力や表現力を伸ばす工夫が感じられません。読み物としては良いかもしれませんが、教材としては難しいと思います。育鵬社は、植民地の事情の記載に偏りがあるなど、中学生の教科書として使用するのはいかがでしょうか。

委員： 資料が多いと教えやすいのは間違いないでしょうが、多すぎるのも難があるといえるでしょう。教え方の問題でもあります。

委員： 帝国書院は、明治維新について詳しく記載されており、地元として、しっかり教えて欲しいところなので、そこは良いと思いました。

委員長： 東京書籍は、資料が多いので教員がしっかりポイントを押さえて指導する必要があると思います。帝国書院は、自主学習で効果を発揮すると思います。

委員長： 調査員も、東京書籍を推していますので、現在使用している東京書籍を採用するということでしょうか。

(全委員異議なし)

委員長： 次に公民について、御意見はありますか。

教育長： 東京書籍は、資料が豊富すぎるので、グラフ等が小さくなっています。人権に関する記載は、充実していると思います。帝国書院は、教材のつながりを大事にしているように感じました。また、少子高齢化のような現在の課題について、コラムが充実していると思います。東京書籍では、つながりが感じられないと思います。

委員長： 東京書籍は、学習の流れが少し難しいように感じました。本文から読み取って、分析するというようなことが難しいのではないかと思います。

委員： 公民は、単元のつながりが、断片的になってしまっていますが、帝国書院は、横のつながりを、意識させていると思います。

委員長： 大事な課題というのは沢山ありますが、それを掘り下げられるかという点が大切だと思います。東京書籍では、多くの課題が扱われていますが、整理がされていないように思います。帝国書院では、課題のつながりが重視されていて、資料の量も適切だと思われるので、帝国書院を採用することでしょうか。

(全委員異議なし)

委員長： 次に、地図について御意見をお願いします。

教育長： 東京書籍は、写真が多用されていて、資料が多いと思います。

委員： 東京書籍は、鳥瞰図に大きなスペースを割いているが、これだと書き込みが

しづらいと思います。それと海の深さが記入されていますが、逆にわかりにくくなっていると感じました。

委員長： 地理のところで、地図と教科書は合わせたほうが良いということで、地図は帝国書院が良いという意見が多かったとおもいますが、地図は帝国書院を採用するという事でよろしいですか。

(全委員異議なし)

委員長： 次に数学について、御意見をお願いします。

委員： ノートの書き方がしっかり示されていて、大事なところが良くまとめられている啓林館が良いと思います。大日本図書も流れとしては面白いと思います。

委員長： 啓林館は、ジャンプの課題等も適切だと思います。東京書籍も、マイノートまとめ方はしっかりしていて良かったと思います。啓林館の方は、きっちりし過ぎているかとも思いますが、基本がしっかり押さえてあると思います。

教育長： 啓林館に別冊が付くのは初めてですか。

事務局： そうです。

委員： 別冊になることにより、回答の突合がしやすいなどの教員の意見もあります。

委員長： それでは、数学は現在使用している啓林館を採用するという事でよろしいですか。

(全委員異議なし)

委員長： 次に理科について、御意見をお願いします。

委員長： 教科書が変われば、実験器具に影響があるのではという意見がありましたが、どの教科書をみても大差ないように思います。

教育長： 調査員からは、大日本図書の資料、コラムが充実しているという意見がありました。

委員： 大日本図書と、啓林館を比較して見ましたが、探究学習などでは、啓林館のほうが使いやすいと思いました。

委員長： 東京書籍は、資料写真がわかりやすい感じがしました。

教育長： 啓林館は、別冊があるので、理科ノートなどは不要になると思います。

委員長： それでは、理科は現在使用している啓林館を採用することでよろしいでしょうか。

(全委員異議なし)

委員長： 次に、音楽(一般)について、御意見をお願いします。

教育長： 教育芸術社のマイボイスの説明は、非常に分かりやすかったと思います。

委員長： 教育芸術社は音楽からイメージが作りやすいと思います。

委員長： それでは音楽(一般)は教育芸術社を採用することでよろしいでしょうか。

(全委員異議なし)

委員長： 次に、音楽(器楽)ですが、音楽(一般)と別の教科書とするよりは、同じ会社の教科書のほうが、使い勝手が良いと思いますがいかがでしょうか。

教育長： 同じほうが良いと思います。

委員長： それでは、音楽(器楽)について、教育芸術社を採用することでよろしい

でしょうか。

(全委員異議なし)

委員長： 次に、美術について、御意見をお願いします。

教育長： 調査員の意見では、開隆堂出版は技法に詳しいので教員が指導しやすい、光村図書出版は、原寸大の作品がある、日本文教出版は、版が大きい、色が実物に近いなどがありました。

委員： 日本文教出版には、常盤公園に彫刻が展示されている作家の作品も掲載されているので、親しみやすいと思います。

委員： 日文は、版が大きいので、紙面にゆとりがあって、大変見やすいと思います。

委員長： それでは、美術については日本文教出版でよろしいですか。

(全委員異議なし)

委員長： 次に保体ですが、御意見はありますか。

委員長： 調査員の意見では、東京書籍は、組み立てが分かりやすく、歯の問題にも触れている、大日本では体作りが中心になっている、学研は心の発達、まとめの問題が掲載されているなどがありました。

委員： 全体的に東京書籍がよくまとまっていると思いますが、歯の問題で虫歯にしか触れておらず、歯周病について書かれていないのが残念です。大日本図書には一応記載があるのですか。

委員長： 東京書籍ではインターネット依存の危険について記載があるのが良いと思います。大修館書店は、飲酒や薬物依存などがありますが、ゲームなどについては少ないと思います。学研教育みらいは、心の発達や生殖、ストレスなどの記載はしっかりしていると思います。

教育長： 東京書籍もストレスについての記載は充実しています。それと巻末資料が充実していて、ワークを別途購入する必要がないと思います。

委員長： それでは、保体は、学習のまとめが充実している東京書籍ということでよろしいですか。

(全委員異議なし)

委員長： 次に、技術について御意見をお願いします。

委員長： 調査員の意見では、東京書籍がソーシャルネットワークや防災手帳が充実しているとのことでした。

教育長： 東京書籍は、版が大きいので、左から右に流れる作業手順などが、分かりやすいと思います。

委員： 東京書籍が、SNSについて、一番分かりやすいと思います。

委員長： それでは技術については、東京書籍を採用とすることよろしいですか。

(全委員異議なし)

委員長： 次に、家庭について、御意見はありますでしょうか。

委員長： 調査員から、東京書籍は、つながりが見やすい、教育図書は食生活に詳しく、実践例が多い、開隆堂出版は資料の掲載が多く、安全防災に詳しいという意見がありました。

教 育 長： 学校では、食生活から入るので、東京書籍の方が使い勝手が良いという意見もありました。

委 員 長： 東京書籍は、動画が見られるというのが素晴らしいと思います。

教 育 長： インターネットを活用して授業ができる、デジタルに対応した教科書になっていると思います。

委 員 長： 情報が入手しやすく、豊かになるということで、家庭については東京書籍を採用するという事でよろしいですか。

(全委員異議なし)

委 員 長： 次に英語について、御意見をお願いします。

委 員 長： 調査員から、ニューホライズンは、意見を言う、聞くなどのコミュニケーション能力を高める構成になっている、サンシャインでは、会話形式に特徴がある、トータルイングリッシュは、文法の例示などに色がつきすぎているといった意見がありました。

欠席された委員からは、トータルイングリッシュは、文法のまとめがカラフルすぎて見にくい、文法用語が前面に出てこないののでわかりにくいのではないかと、一般動詞を使った表現から導入されているが、小学校の外国語活動で慣れ親しんでいる表現から入ることは、一見良さそうに見えるが、B e 動詞の定着は難しいのではないかと。ニューホライズンとサンシャインでは、幅広く課題を含んでどちらも大差ないと思われる、文法のまとめ方で、ニューホライズンは、1年生で細かく文法がまとめられているので、苦手な生徒にもわかりやすい、サンシャインは内容が多いので、苦手な生徒には少し分かりにくいのではないかと、単元の構成は、ニューホライズンがシンプルで覚えやすいと思うとのことです。

教 育 長： トータルイングリッシュは、一般動詞から入るので、小学校とのつながりがやりやすいとっていましたが、文法を押さえていないので、使いにくいという意見を聞いたことがあります。やはり、文法をしっかり教えられる教科書を使ったほうが、定着しやすいと思います。文法的なまとめでは、ニューホライズンか、サンシャインになりますが、基本文型が、サンシャインは会話形式、ニューホライズンは、分かりやすい文型が示されていると思います。

それと、サンシャインは、リスニングがあって、スピーキングをして、最後に長文になっているので、大事な部分について、時間が足りなくなる恐れがあります。ニューホライズンは、先に長文がありますのでその心配がありません。三年生の長文のところで、ニューホライズンのほうが行間にゆとりがあって、書き込みなどもしやすくなっています。

委 員 長： 現在完了形については、サンシャインが特に詳しく、時系列がわかりやすいと思います。

教 育 長： ニューホライズンのほうが、デジタル教材が充実しているという報告もありました。

委 員 長： それでは、英語について、デジタル教材の充実と、文法が簡潔に整えてある

東京書籍（ニューホライズン）を採用することによろしいでしょうか。

（全委員異議なし）

委員 長： 最後に一般図書について、説明をお願いします。

事務局： 特別支援学級で使われる一般図書についてもこれから採択する必要があります。特別支援学級で使われる図書については、児童生徒の障害の程度に応じて採択する必要があることから、毎年度採択しているところです。また、採択については、文部科学省、県及び市が作成する一覧表の中から、供給可能な図書を、学校と協議しながら採択していくこととなります。来年度の選定について、一覧表以外から選択する場合には、教育委員会会議に諮ることとなりますので、その場合はよろしくお願いします。次回の教育委員会会議では、学校からどの一般図書が申請されたかを紹介し、承認をいただくこととなります。なお、通常学校で使われる検定本につきまして、昨日まで市立図書館において、展示していましたが、来場者は延べ28名で、御意見につきましては事前にお配りしているとおります。

委員 長： この一覧表の記載の本では、特別支援学級の児童生徒の能力を低く見すぎているのではないかと思います。中学生にふさわしい本を選択していただきたいと思います。

教 育 長： ある程度理解できる子であれば、通常の教科書を使っていると思います。

事務局： 出来る子は、通常学級と同じ教科書を使用し、それが理解できない場合において、一般図書を使用することとなります。

委員 長： 本人たちにもプライドがありますので、相応の図書が、選択できるようお願いします。

委員 長： 以上を持ちまして、本日の教育委員会会議を閉会とします。